

はじめに



今日の情報通信技術のめざましい発展や普及の進展により、通勤が困難な障害者にとっても、パソコンやインターネット等を活用して在宅で就業するという機会が増えてきています。このような就業形態は、障害者の能力に応じた働き方の可能性を広げ、就業機会の拡大をもたらすものとして注目されています。

現在、在宅就業障害者の仕事内容をみると、データベース入力や文書作成のほか、ホームページ制作、コンピュータによる製図作成（CAD）、プログラマー、システム開発、モニター業務、マーケティング調査、翻訳等、多くの職種があげられ、職域の幅が広がっています。

いま、障害者の在宅就業を推進していくことが求められています。そのために、大きな役割を果たしているのが、「在宅就業支援団体」です。ここでは、在宅就業障害者に対する就業機会の確保や提供、就職支援等にかかる実践的な取組が行われており、成果をあげています。

こうした状況を踏まえ、当機構では、平成18年度から「在宅就業支援団体における就職支援推進事業」を実施しており、全国の在宅就業支援団体等の中から、障害者に対する就職支援の取組にかかる好事例を収集しとりまとめ、本事例集を作成いたしました。本事例集に掲載している就職支援のための具体的なノウハウが、障害者の在宅就業の促進にお役に立てば幸いです。

最後に、本事例集の作成に当たって、取材に応じてくださった関係者の皆様には、心からお礼申し上げます。

平成 20 年8月

CONTENTS

はじめに	2
目次	3

事例紹介

在宅雇用事例 1	在宅パソコン講習で、パソコン技術をいち早く取得。多様性を活かした職域で 11 年目にチャレンジ。 社会福祉法人 東京コロニー／株式会社 東京放送（TBS）	4
在宅雇用事例 2	業務内容に特化した研修で企業が求める人材を育成。企業との連携で社内規定を整え、複数の在宅雇用を実現。 特定非営利活動法人 ウィーキャン世田谷／東急リバブル株式会社	8
在宅雇用事例 3	支援団体が対象者の経歴を十分に把握。再就職の際も本人の資質を活かした在宅雇用を可能に。 特定非営利活動法人 パーチャルメディア工房ぎふ／サンメッセ株式会社 マルチメディア部	12
在宅雇用事例 4	雇用管理システムの活用で通勤不要の労働環境を確立。制作物の効果を能率給に反映させ、やりがいに。 株式会社 アンウィーブ／株式会社 MASHU	16
在宅雇用事例 5	e-ラーニングでホームページ作成の知識や技術を習得。同時通話システムでコミュニケーションを円滑に。 社会福祉法人 恵佼会／株式会社 沖ワークウェル	20



障害者の在宅就業における就職支援に関するアンケート調査	24
在宅就業障害者に対する支援	26
障害者雇用納付金制度に基づく助成金	32
支援機関一覧	34